

4 「食の安全」について

(1) 食の安全に対する関心度

問27 あなたは、食の安全に関心がありますか。(○は1つだけ)

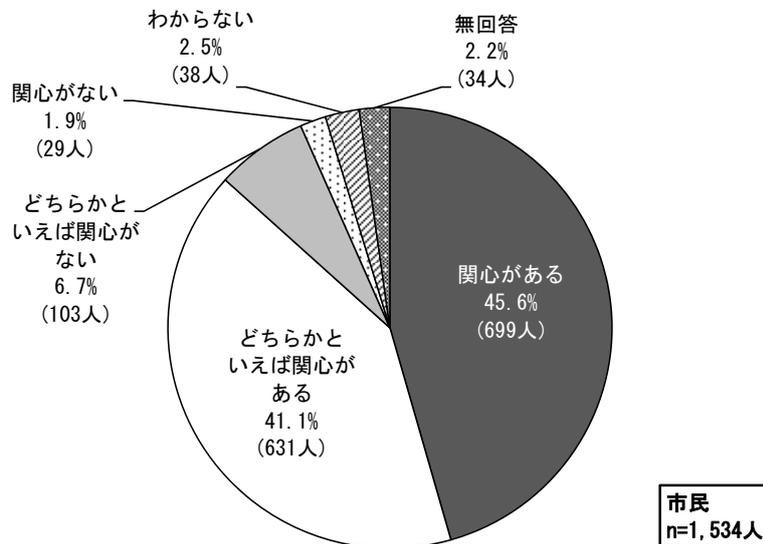
9割強が食の安全に関心があると回答

【全体結果】

「関心がある」(45.6%)、「どちらかといえば関心がある」(41.1%)を合わせた、関心がある人の割合は9割強(86.7%)となっている。

一方、「関心がない」(1.9%)、「どちらかといえば関心がない」(6.7%)を合わせた、関心がない人の割合は、1割弱(8.6%)となっている。

図27.1 食の安全に対する関心度



【性別・年齢別】

「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は、60歳代では9割を超え、30歳代から50歳代と70歳代は8割を超えているが、20歳代は8割弱となっている。

性別では、各年代とも、60歳代以下では女性の方が「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合が高く、70歳以上では男女ほぼ同率となっている。

図 27.2 食の安全に対する関心度（年齢別・全体）

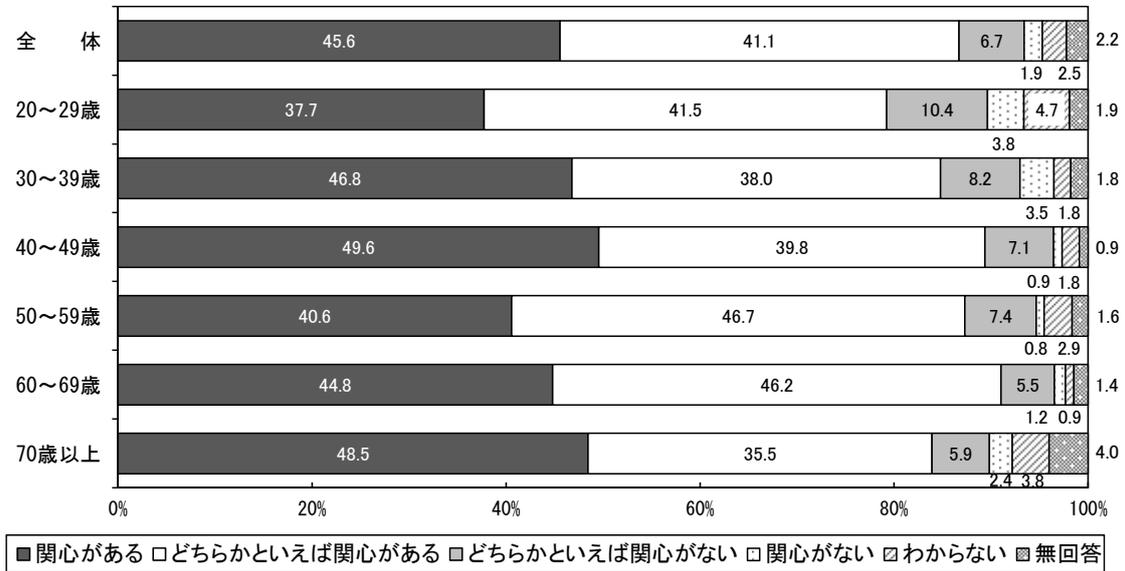
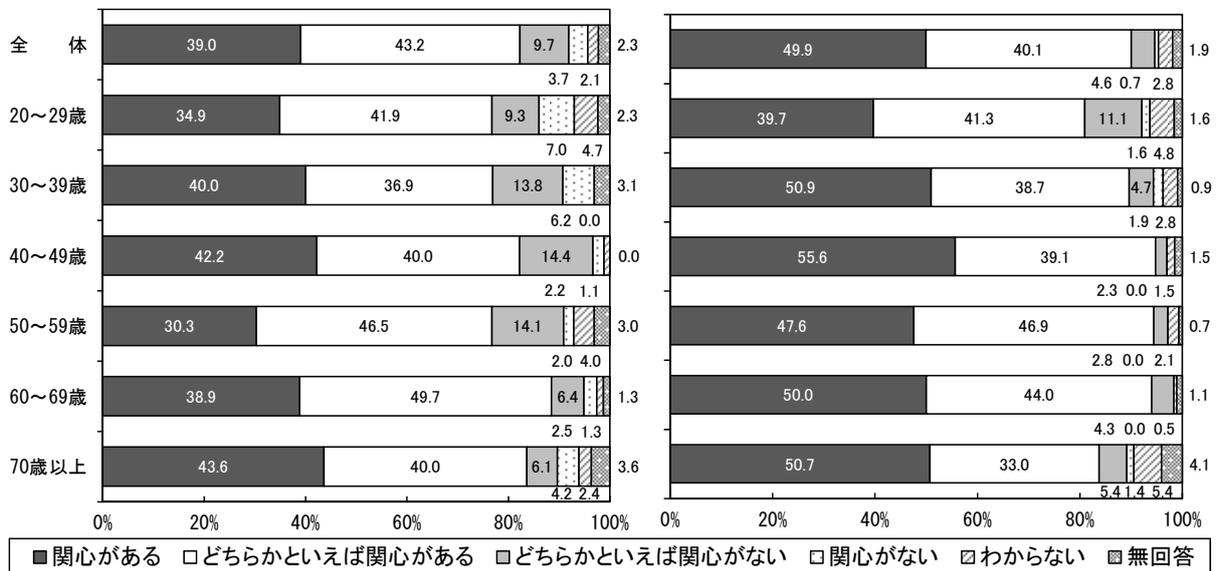


図 27.3 食の安全に対する関心度

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

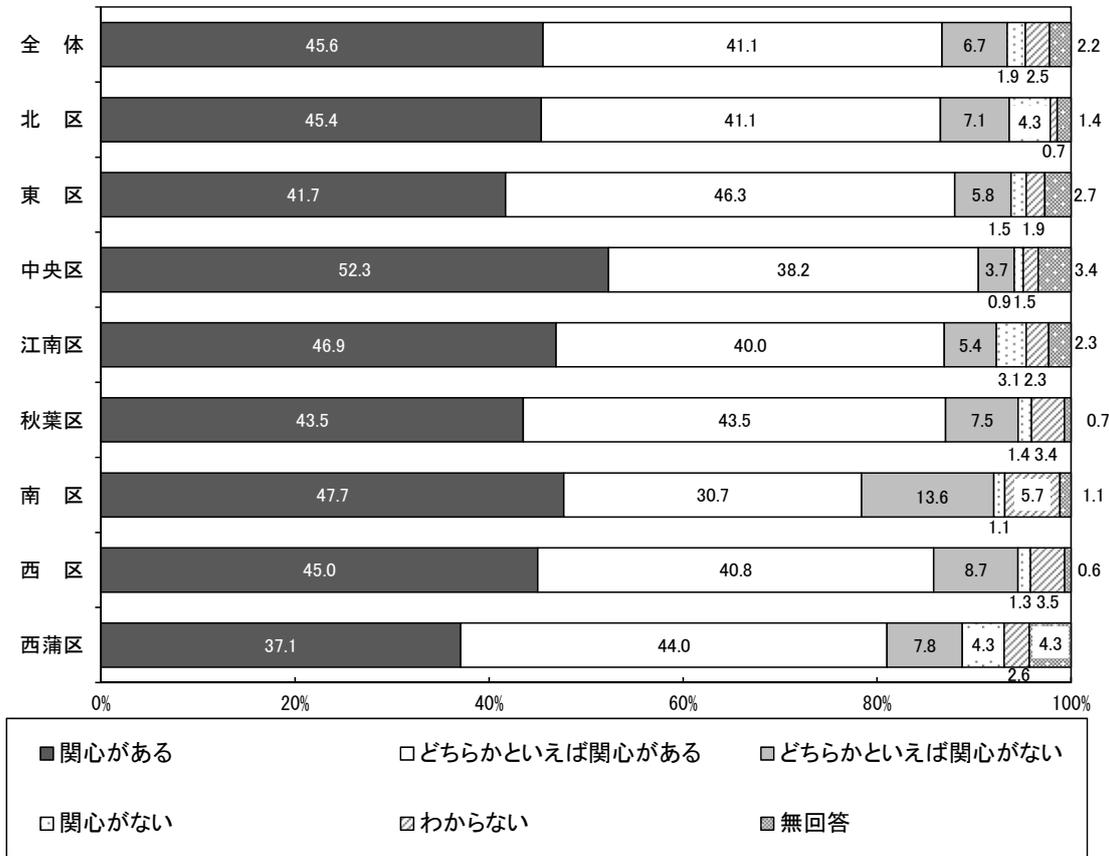
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は、中央区（90.5%）で最も高くなっている。

図 27.4 食の安全に対する関心度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

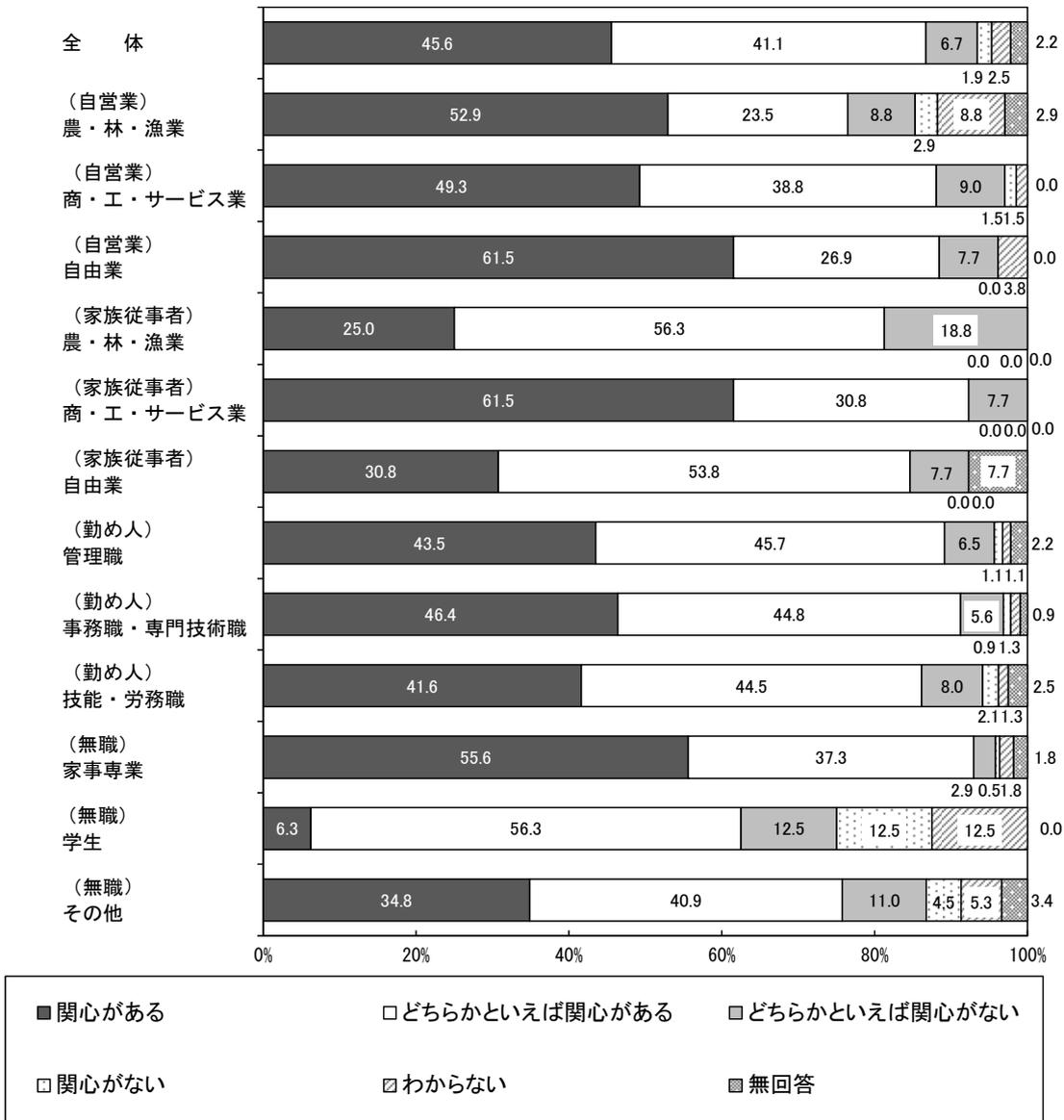
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 27.5 食の安全に対する関心度（職業別）



全 体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,534	34	67	26	16	13	13

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
92	319	238	383	16	264	53

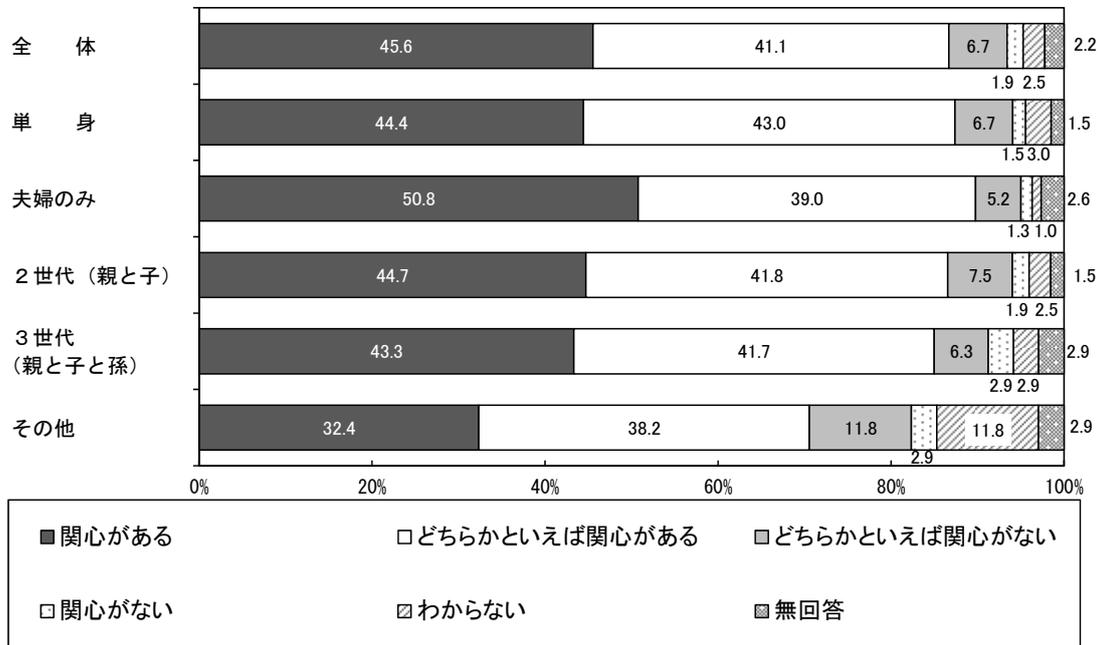
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は、夫婦のみ（89.8%）で最も高くなっている。

図 27.6 食の安全に対する関心度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代（親と子）	3世代（親と子と孫）	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した

(2) 特に関心があること

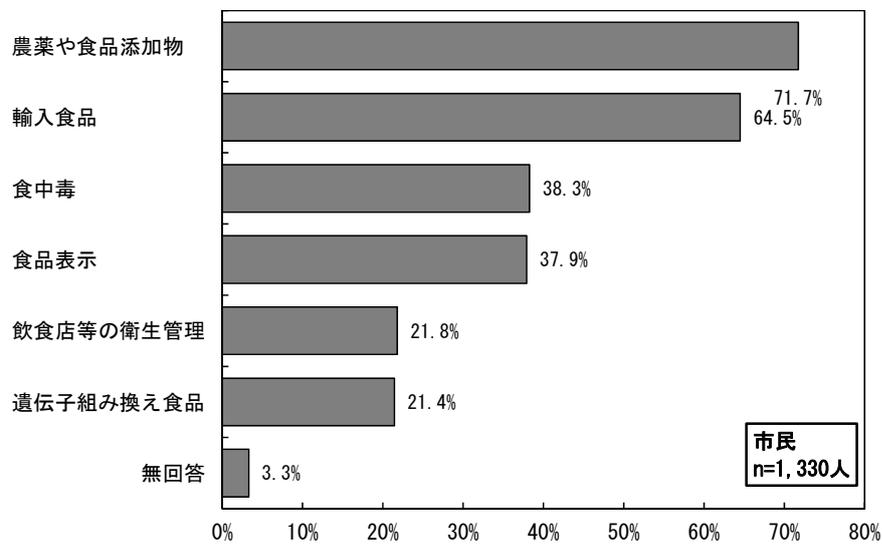
問27-1 どのようなことに関心がありますか。(〇は3つまで)

7割強が「農薬や食品添加物」と回答

【全体結果】

特に関心があることについては、「農薬や食品添加物」(71.7%)と回答した人が最も多く、以下「輸入食品」(64.5%)、「食中毒」(38.3%)、「食品表示」(37.9%)、「飲食店等の衛生管理」(21.8%)、「遺伝子組み換え食品」(21.4%)となっている。

図 28.1 特に関心があること



全体	農薬や食品添加物	輸入食品	食中毒	食品表示	飲食店等の衛生管理	遺伝子組み換え食品	無回答
1,330	954	858	509	504	290	285	44

(人)

【性別・年齢別】

各年代とも、「農薬や食品添加物」「輸入食品」の割合が高くなっている。20歳代では「食中毒」の割合も高くなっている。

表 5.1 特に関心があること（年齢別・全体）

	対象者	農薬や食品添加物	輸入食品	食中毒	食品表示	飲食店等の衛生管理	遺伝子組み換え食品	無回答
計	1,330	71.7	64.5	38.3	37.9	21.8	21.4	2.3
20～29歳	84	61.9	51.2	53.6	26.2	34.5	11.9	0.0
30～39歳	145	71.7	57.9	40.7	29.0	31.7	22.1	2.1
40～49歳	202	70.3	62.9	38.1	35.1	20.8	28.7	2.0
50～59歳	213	71.8	67.1	38.0	39.9	20.7	21.6	3.3
60～69歳	315	71.1	69.8	34.3	42.9	17.1	18.7	2.2
70歳以上	355	74.9	63.9	37.5	39.4	20.6	22.5	2.5
年齢不明	16	81.3	87.5	37.5	56.3	12.5	0.0	0.0

対象者：人／回答：%

表 5.2 特に関心があること（年齢別・男性）

	対象者	農薬や食品添加物	輸入食品	食中毒	食品表示	飲食店等の衛生管理	遺伝子組み換え食品	無回答
計	510	64.9	60.2	39.6	38.2	24.1	18.6	2.0
20～29歳	33	54.5	48.5	54.5	33.3	30.3	6.1	0.0
30～39歳	50	70.0	54.0	44.0	28.0	32.0	20.0	0.0
40～49歳	74	64.9	63.5	35.1	33.8	23.0	24.3	1.4
50～59歳	76	60.5	61.8	50.0	39.5	31.6	21.1	1.3
60～69歳	139	64.0	63.3	29.5	42.4	17.3	20.9	3.6
70歳以上	138	68.8	59.4	41.3	40.6	23.2	14.5	2.2
年齢不明	0	-	-	-	-	-	-	-

対象者：人／回答：%

表 5.3 特に関心があること（年齢別・女性）

	対象者	農薬や食品添加物	輸入食品	食中毒	食品表示	飲食店等の衛生管理	遺伝子組み換え食品	無回答
計	766	76.1	67.4	37.3	38.0	20.1	23.9	2.2
20～29歳	51	66.7	52.9	52.9	21.6	37.3	15.7	0.0
30～39歳	95	72.6	60.0	38.9	29.5	31.6	23.2	3.2
40～49歳	126	73.8	62.7	40.5	36.5	19.0	31.7	2.4
50～59歳	135	77.8	69.6	30.4	40.7	14.8	22.2	4.4
60～69歳	173	76.9	75.7	37.6	43.9	16.8	16.8	1.2
70歳以上	185	80.0	68.6	35.1	40.5	17.3	29.2	1.6
年齢不明	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人／回答：%

(3) 食の安全に関する知識を持っている程度

「食の安全に関する知識」の例

- ◆ 食品表示の見方について
(消費期限や賞味期限、保存料などの食品添加物、遺伝子組み換え食品、食物アレルギーなど)
 - ◆ 食中毒の予防方法について
 - ◆ 輸入食品について
 - ◆ 健康食品について
- その他、農薬使用の実態や鳥インフルエンザに関する知識など

問28 あなたは、食の安全に関してどの程度知識を持っていると思いますか。(○は1つだけ)

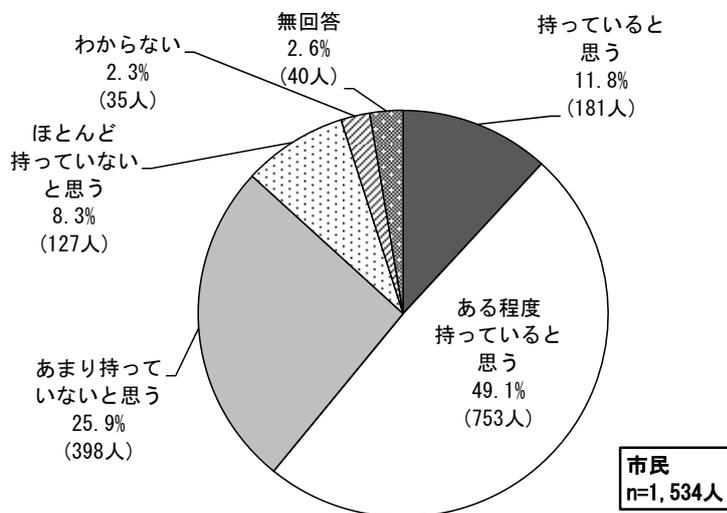
6割強が知識を持っていると回答

【全体結果】

「持っていると思う」(11.8%)、「ある程度持っていると思う」(49.1%)と回答した人を合わせた、知識を持っている人の割合は6割強(60.9%)となっている。

一方、「あまり持っていないと思う」(25.9%)、「ほとんど持っていないと思う」(8.3%)と回答した人を合わせた割合は3割強(34.2%)となっている。

図29.1 食の安全に関する知識を持っている程度



【性別・年齢別】

「持っていると思う」「ある程度持っていると思う」を合わせた割合は、70歳以上で最も高く、約7割となっている。一方、「あまり持っていないと思う」「ほとんど持っていないと思う」を合わせた割合は、20歳代（58.5%）で最も高く5割を超え、30歳代（47.4%）も4割を超えている。

性別では、「持っていると思う」「ある程度持っていると思う」を合わせた割合は、各年代で女性の方が男性より高くなっている。

図 29.2 食の安全に関する知識を持っている程度（年齢別・全体）

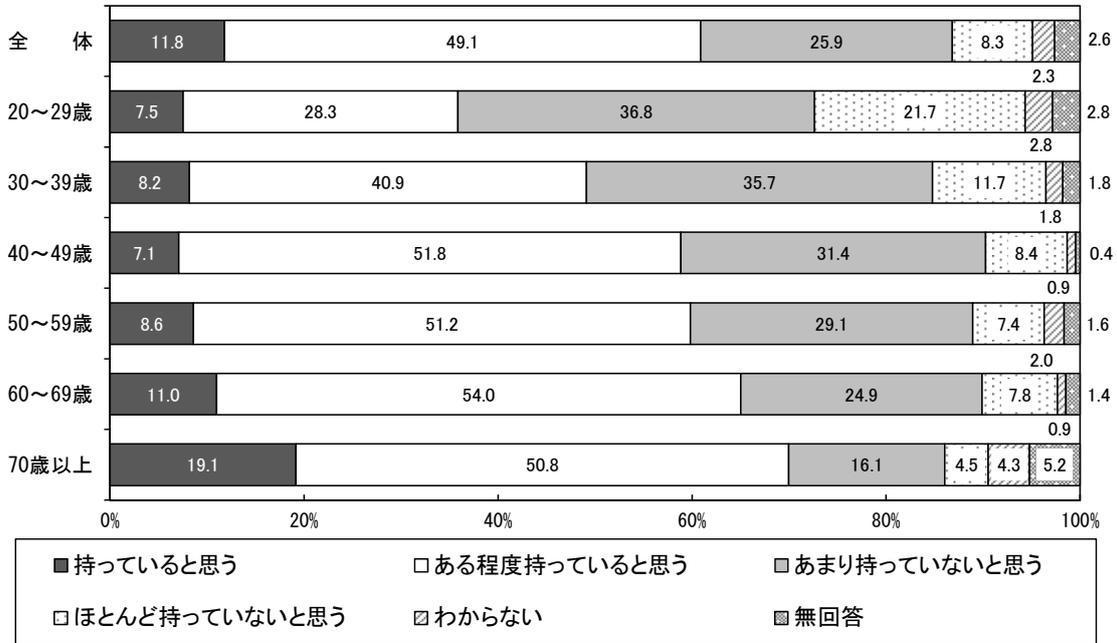
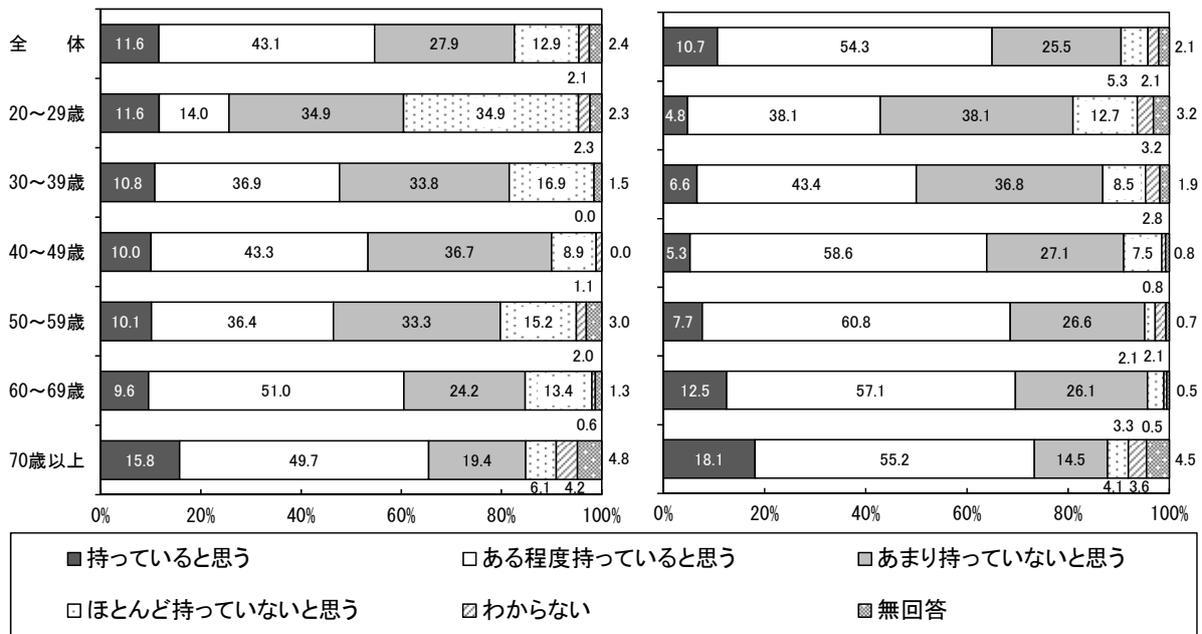


図 29.3 食の安全に関する知識を持っている程度

（年齢別・男性）

（年齢別・女性）



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

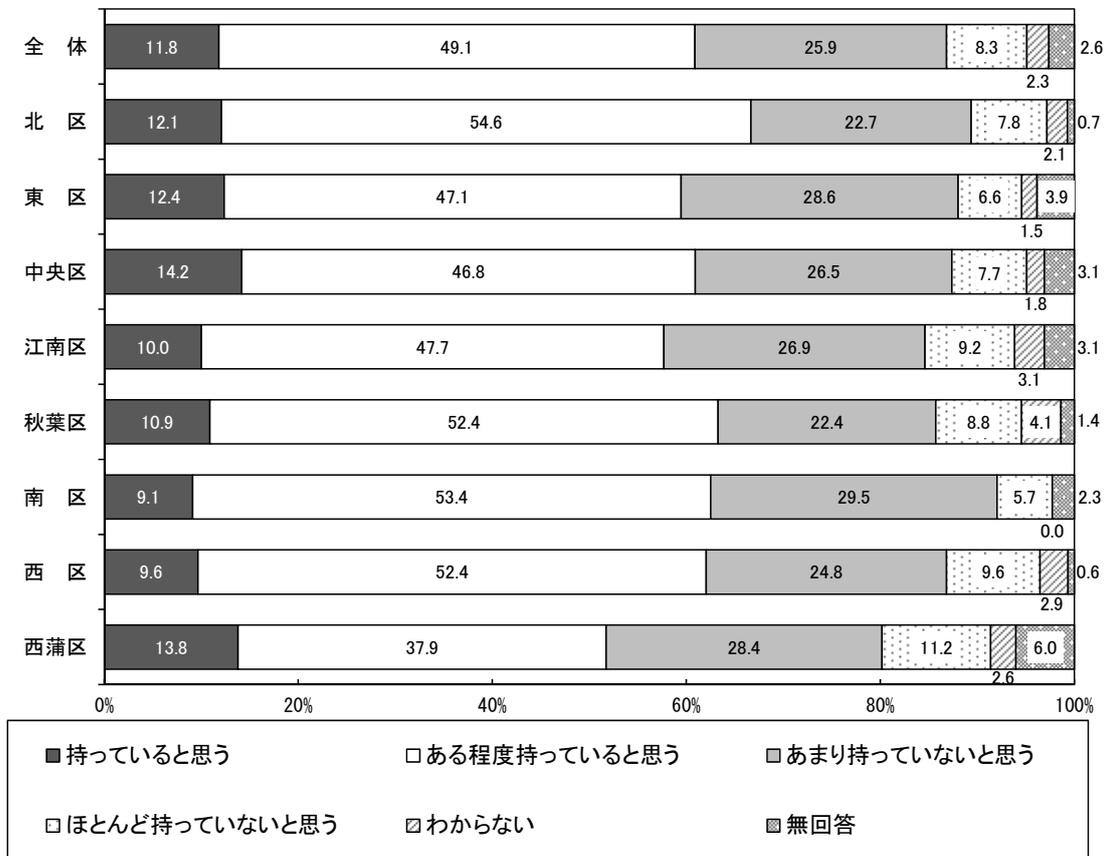
※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

(人)

【地区別】

「持っていると思う」「ある程度持っていると思う」を合わせた割合は、北区（66.7%）で最も高くなっている。

図 29.4 食の安全に関する知識を持っている程度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

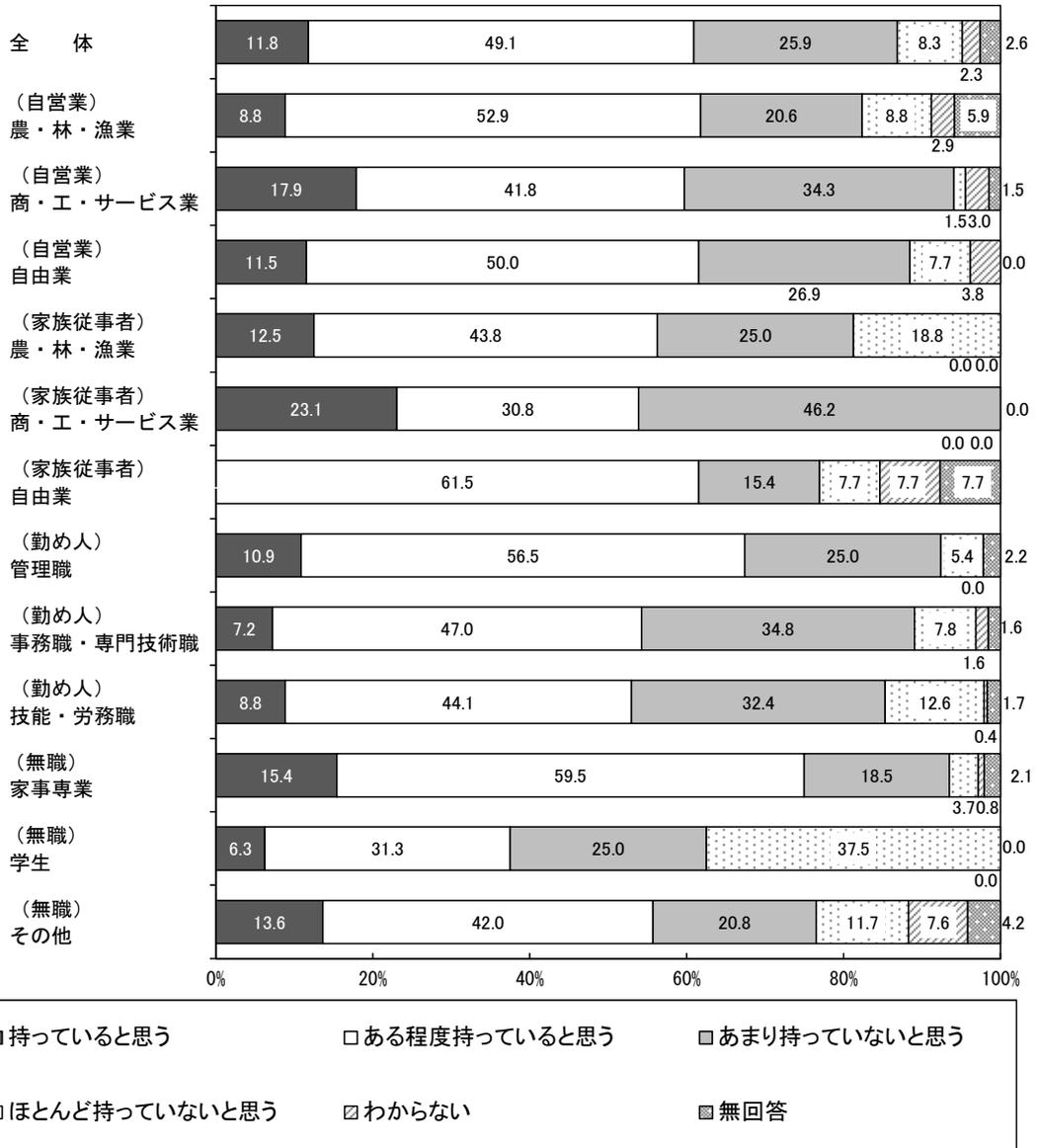
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 29.5 食の安全に関する知識を持っている程度（職業別）



全 体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,534	34	67	26	16	13	13

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
92	319	238	383	16	264	53

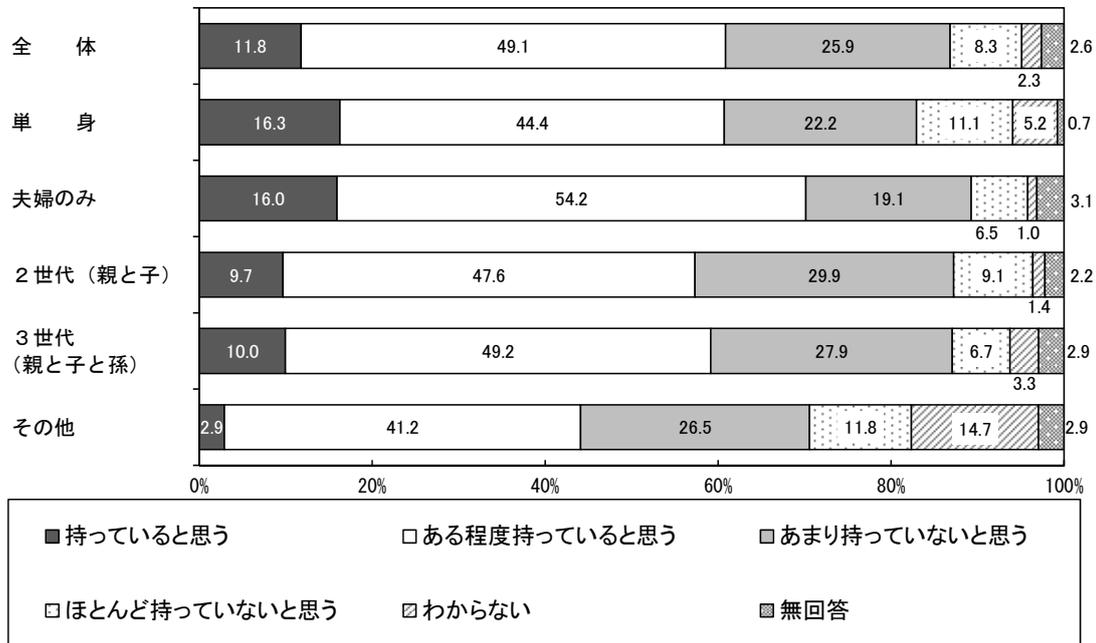
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「持っていると思う」「ある程度持っていると思う」を合わせた割合は、夫婦のみ（70.2%）で高くなっている。

図 29.6 食の安全に関する知識を持っている程度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代（親と子）	3世代（親と子と孫）	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した

(4) 安全な食生活を送ることについての判断の程度

問29 あなたは、安全な食生活を送ることについてどの程度判断できていますか。
(〇は1つだけ)

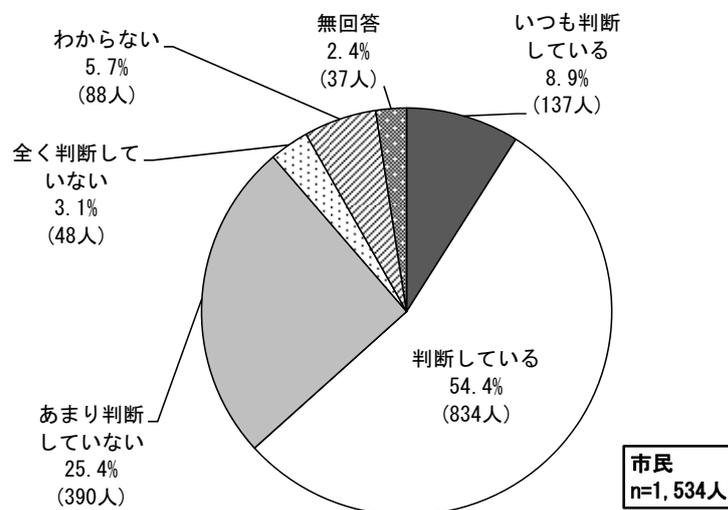
6割強が判断していると回答

【全体結果】

「いつも判断している」(8.9%)、「判断している」(54.4%)と回答した人を合わせた、判断している人の割合は6割強(63.3%)となっている。

一方、「あまり判断していない」(25.4%)、「全く判断していない」(3.1%)と回答した人を合わせた割合は3割弱(28.5%)となっている。

図30.1 安全な食生活を送ることについての判断の程度



【性別・年齢別】

「いつも判断している」「判断している」を合わせた割合は、70歳以上で最も高く、約7割となっている。一方、「あまり判断していない」「全く判断していない」を合わせた割合は、20歳代（46.3%）で最も高く4割を超えている。

性別では、「いつも判断している」「判断している」を合わせた割合は、各年代で女性の方が男性より高くなっている。

図 30.2 安全な食生活を送ることについての判断の程度（年齢別・全体）

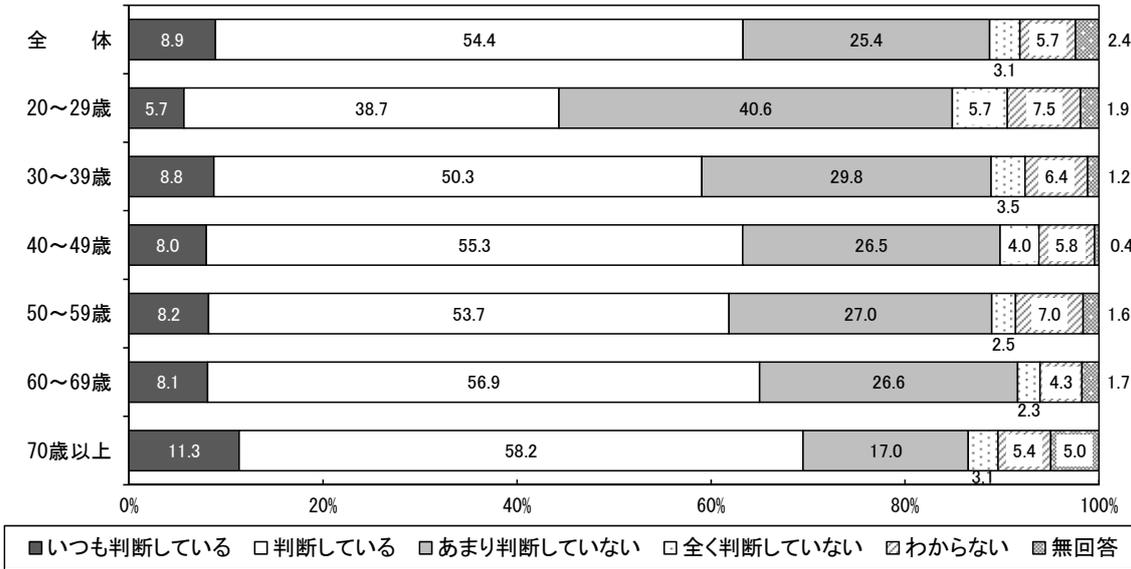
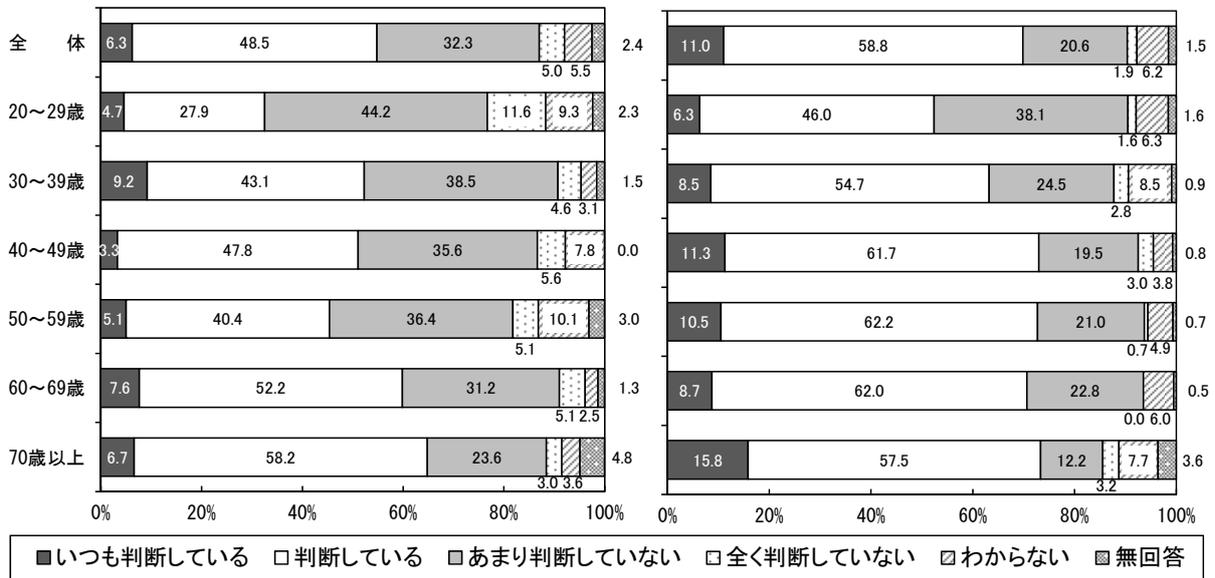


図 30.3 安全な食生活を送ることについての判断の程度
（年齢別・男性） （年齢別・女性）



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

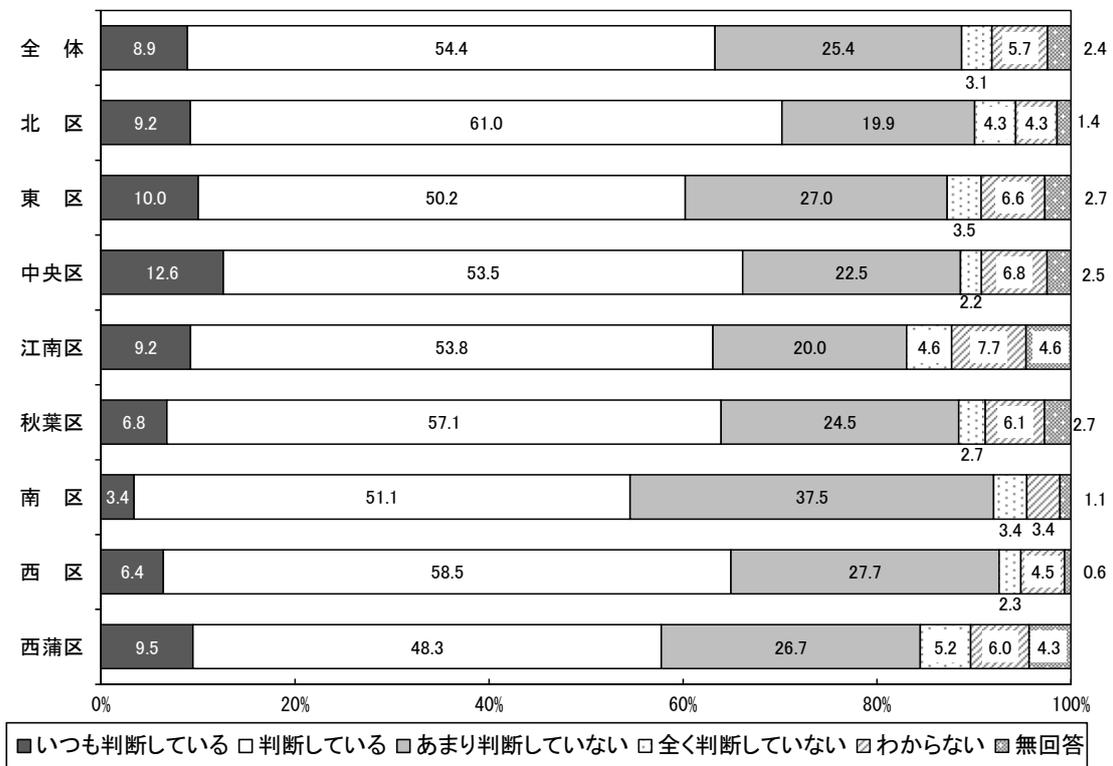
(人)

※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「いつも判断している」「判断している」を合わせた割合は、北区（70.2%）で最も高くなっている。

図 30.4 安全な食生活を送ることについての判断の程度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

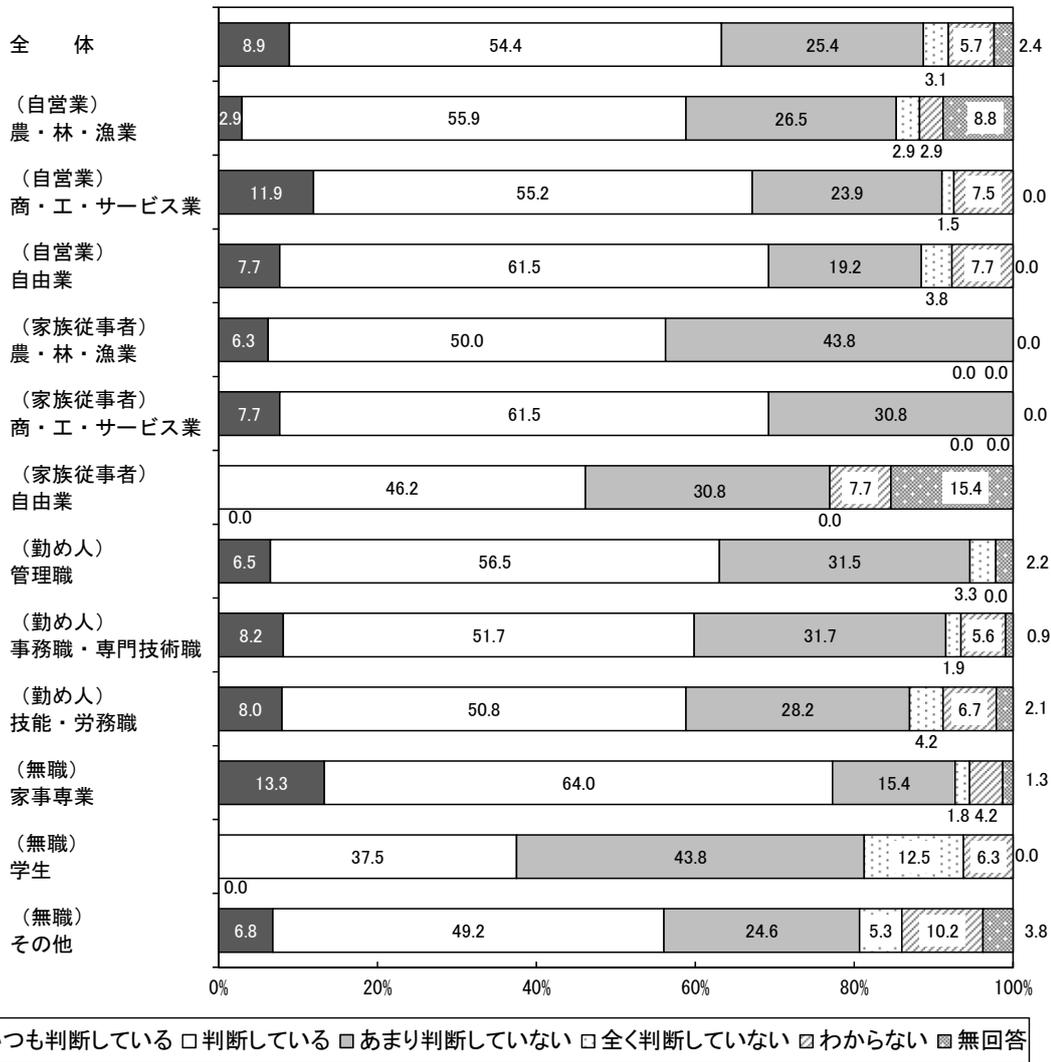
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 30.5 安全な食生活を送ることについての判断の程度（職業別）



全 体	自営業			家族従事者			無回答	
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業		
1,534	34	67	26	16	13	13		
		勤め人			無職			無回答
	管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他		
	92	319	238	383	16	264	53	

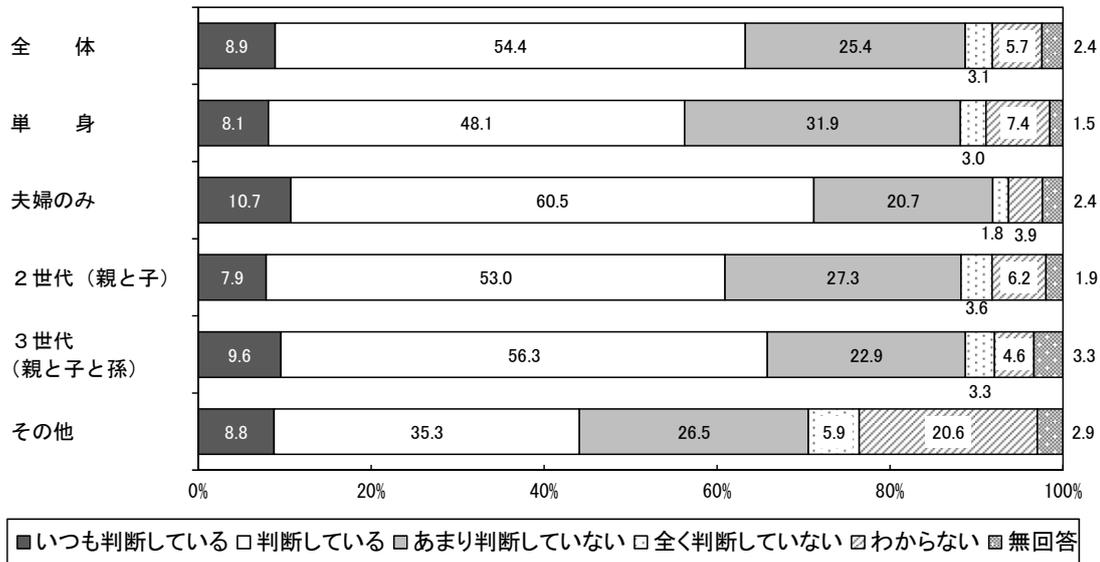
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「いつも判断している」「判断している」を合わせた割合は、夫婦のみ（71.2%）で高くなっている。

図 30.6 安全な食生活を送ることについての判断の程度（家族構成別）

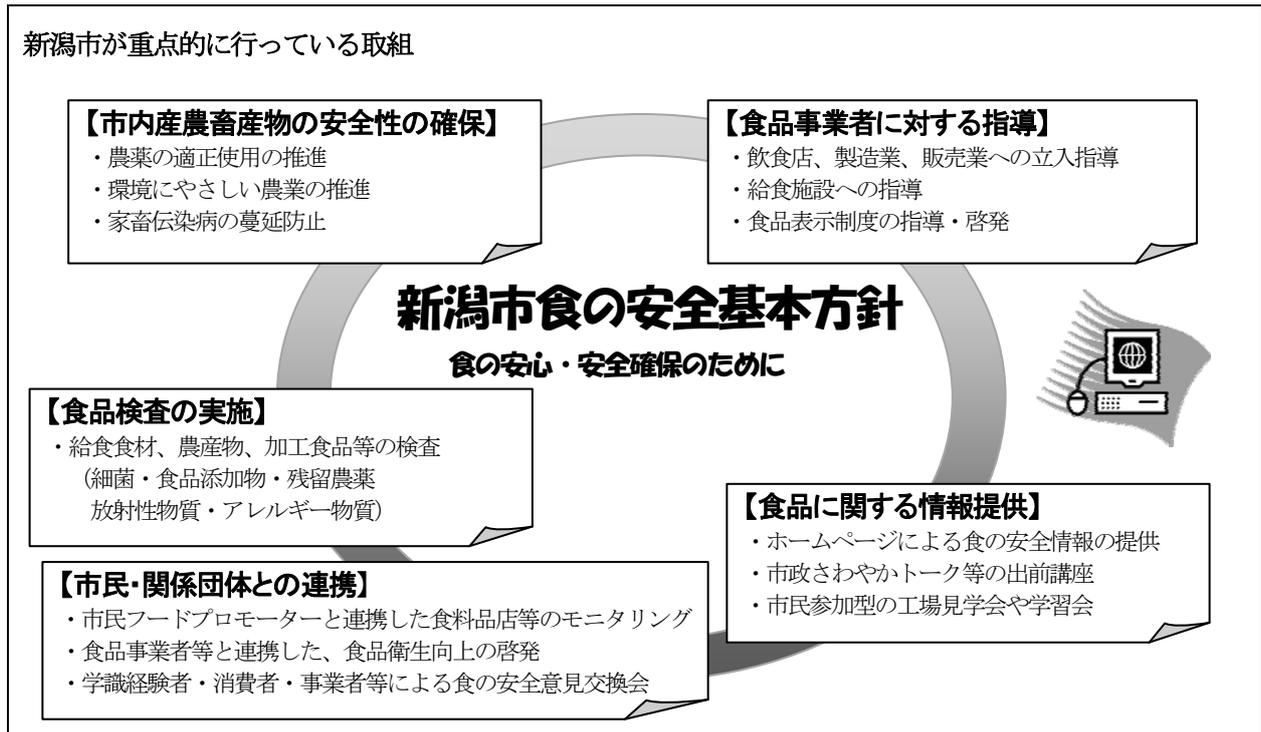


家族構成	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
全体	1,534	135	382	722	240	34
						21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した

(5) 新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組状況



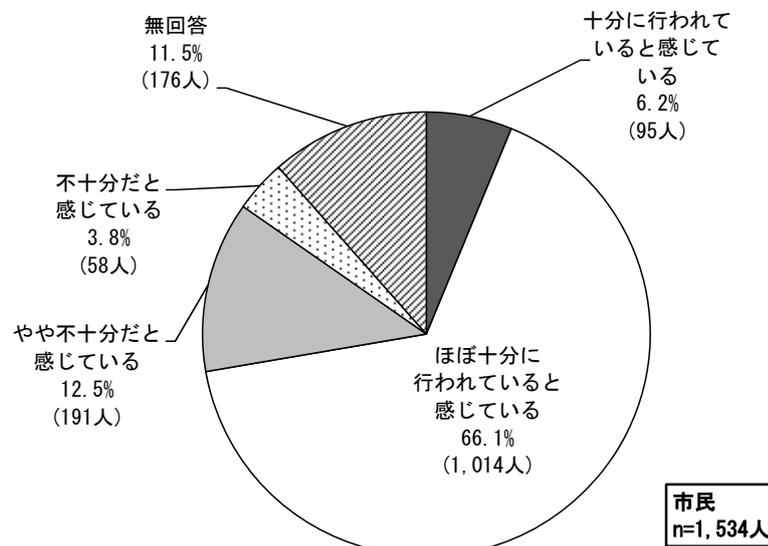
問 30 新潟市では、「食の安全基本方針」に基づき、下記のような取組を重点的に行っているところです。あなたは、新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組が、十分に行われていると感じていますか。一番近いものをお選びください。(○は1つだけ)

7割強が十分に、もしくはほぼ十分に行われていると感じていると回答

【全体結果】

「十分に行われていると感じている」(6.2%)、「ほぼ十分に行われていると感じている」(66.1%)と回答した人を合わせた割合は7割強(72.3%)となっている。「やや不十分だと感じている」(12.5%)、「不十分だと感じている」(3.8%)と回答した人を合わせた割合は2割弱(16.3%)となっている。

図 31.1 新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組状況



【性別・年齢別】

「十分に行われていると感じている」「ほぼ十分に行われていると感じている」と回答した人の割合は、20歳代（81.1%）で最も高く、70歳以上（66.2%）で最も低くなっている。「やや不十分だと感じている」「不十分だと感じている」と回答した人の割合は、40歳代（23.0%）で最も高くなっている。

性別では、「十分に行われていると感じている」「ほぼ十分に行われていると感じている」を合わせた割合は、60歳代以下では女性の方が高く、70歳以上では男性の方が高くなっている。

図 31.2 新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組状況（年齢別・全体）

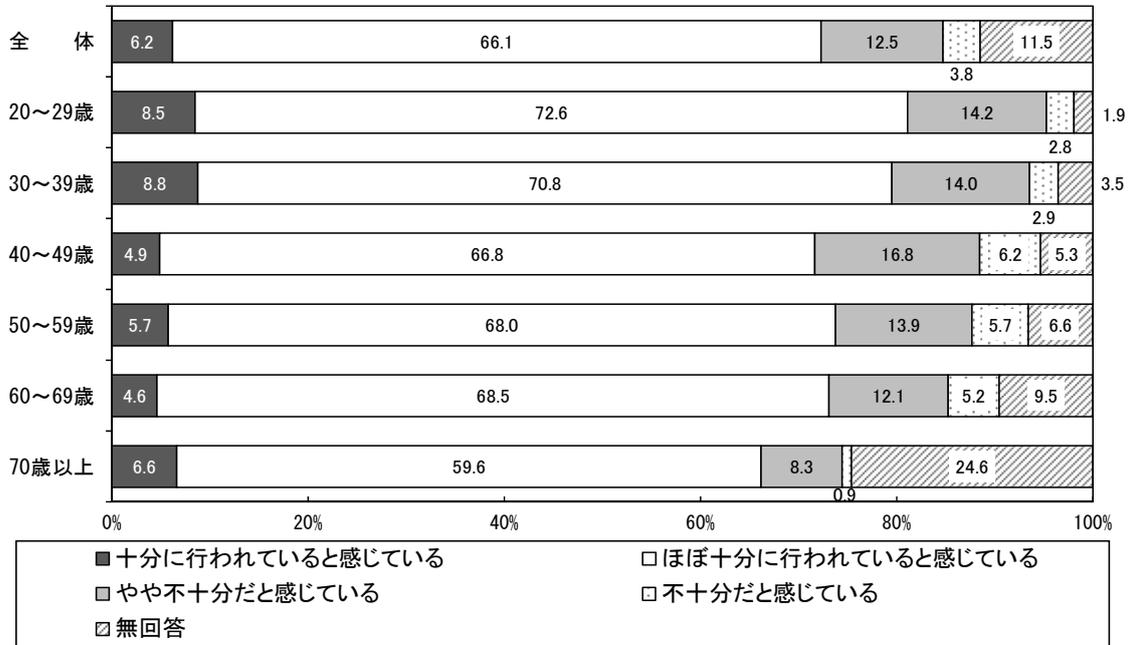
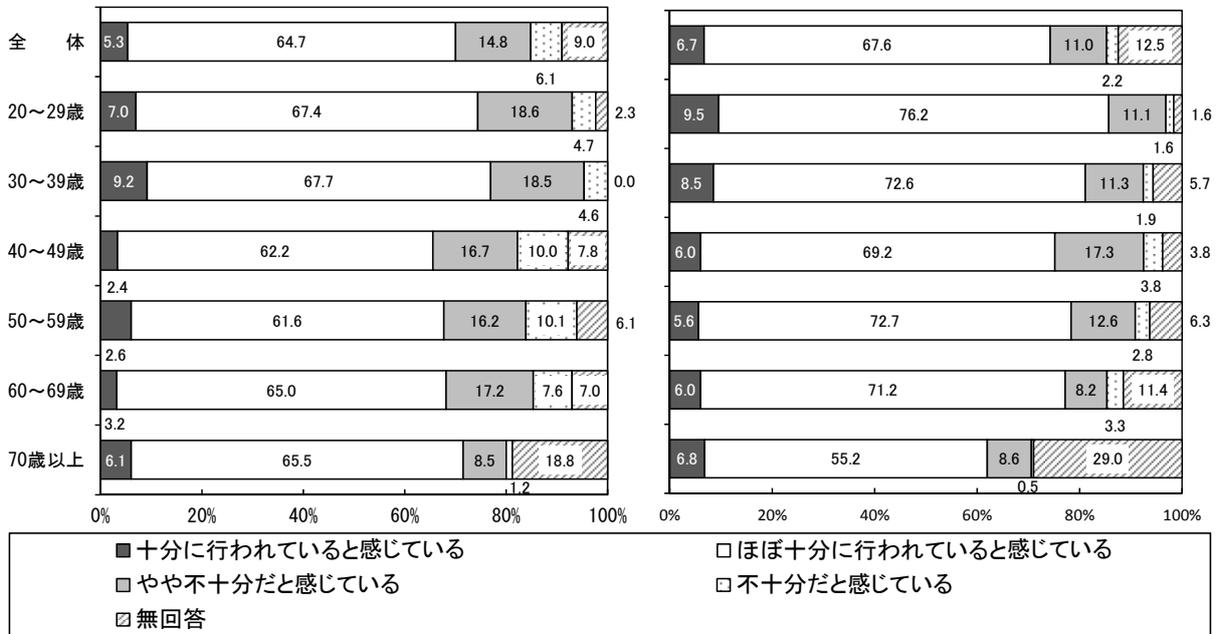


図 31.3 新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組状況（年齢別・男性）



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,534	106	171	226	244	346	423	18
男性	620	43	65	90	99	157	165	1
女性	851	63	106	133	143	184	221	1

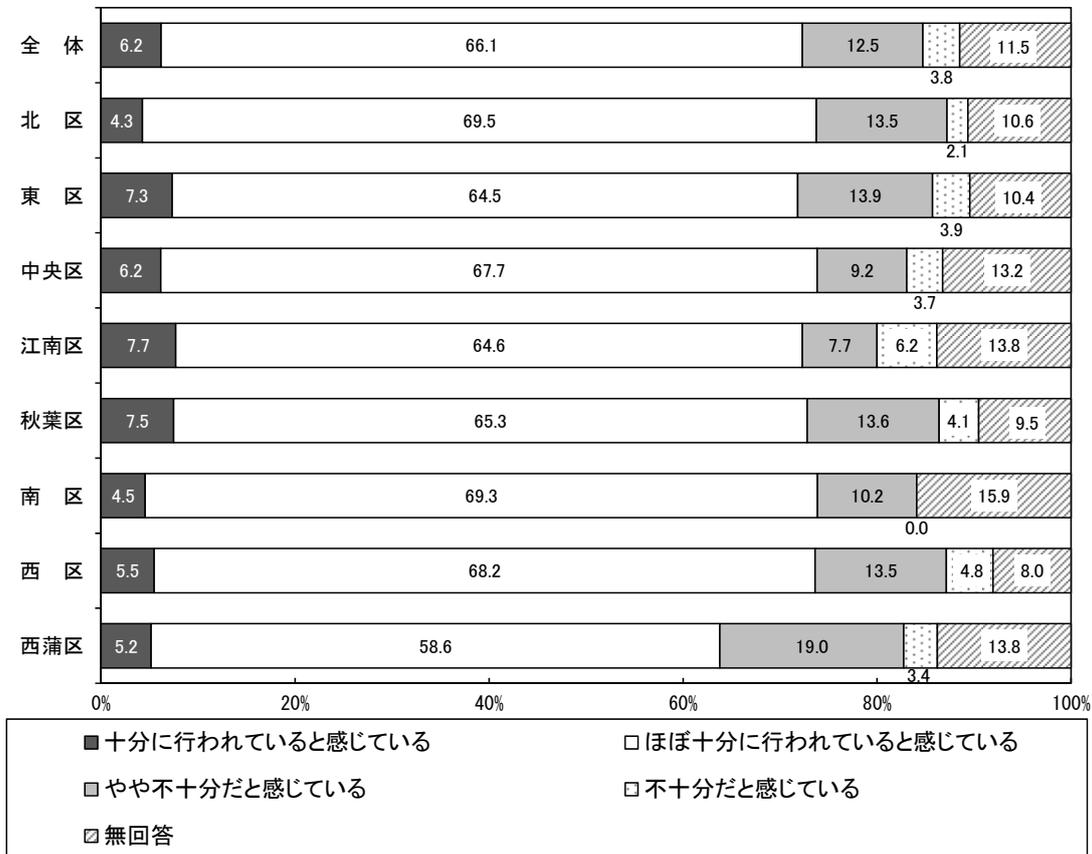
※ 性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

(人)

【地区別】

「十分に行われていると感じている」「ほぼ十分に行われていると感じている」と回答した人を合わせた割合は、中央区（73.9%）、北区・南区（同率73.8%）で比較的高く、一方、最も低いのは西蒲区（63.8%）であった。

図 31.4 新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組状況（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

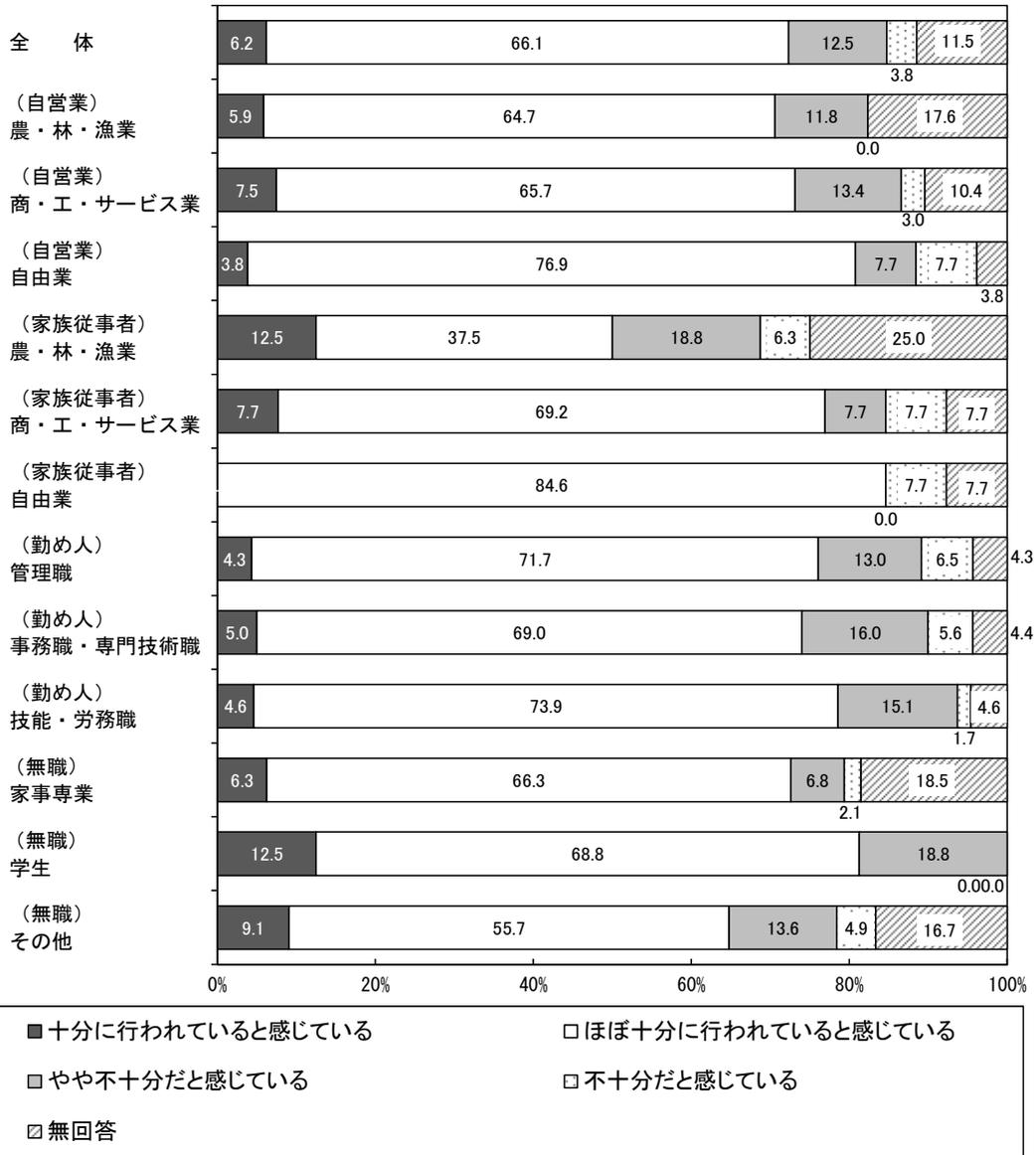
(人)

※ 地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 31.5 新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組状況（職業別）



全 体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,534	34	67	26	16	13	13

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
92	319	238	383	16	264	53

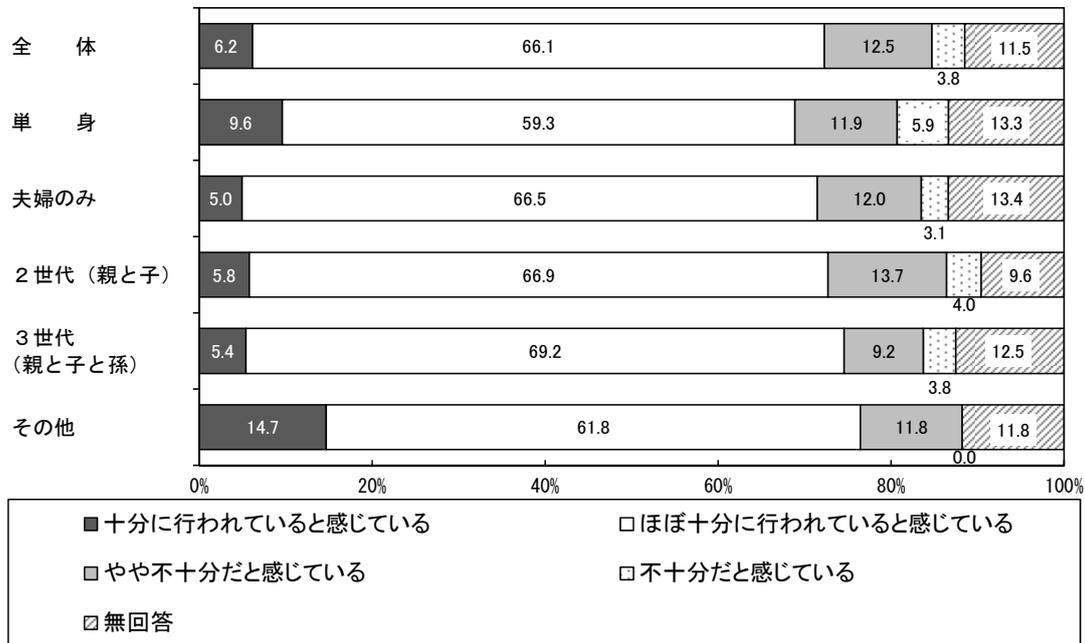
(人)

※ 無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「十分に行われていると感じている」「ほぼ十分に行われていると感じている」と回答した人を合わせた割合は、その他（76.5%）で最も高く、単身（68.9%）で最も低くなっている。

図 31.6 食の安全に関する知識を持っている程度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代（親と子）	3世代（親と子と孫）	その他	無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

※ 無回答者のグラフは省略した

(6) 特に不十分だと感じている取組

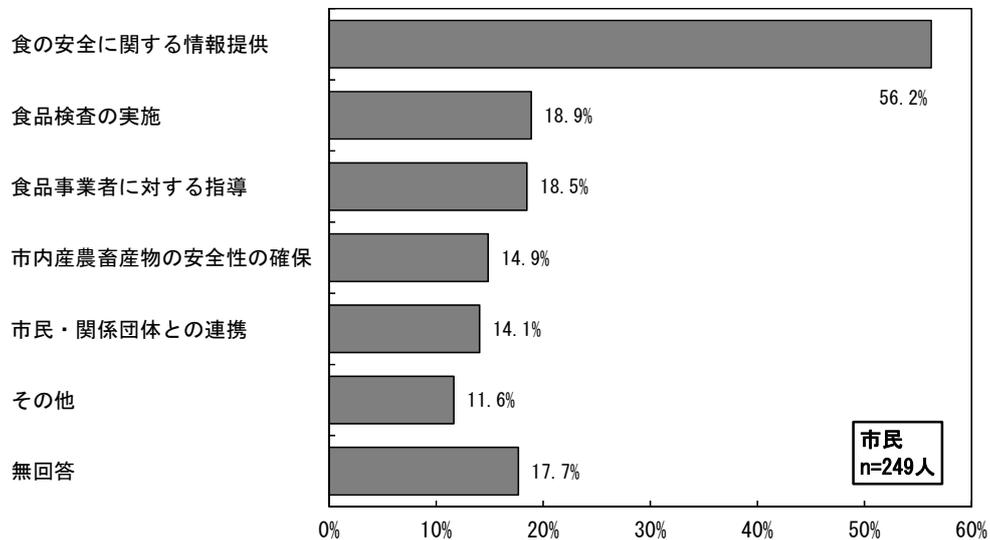
問30-1 あなたが特に不十分だと感じている取組は何ですか。(〇は3つまで)
各取組内容についての詳細は上の図をご覧ください。

6割弱が「食品に関する情報提供」と回答

【全体結果】

特に不十分だと感じている取組については、「食の安全に関する情報提供」(56.2%)と回答した人が最も多く、「その他」を除き以下「食品検査の実施」(18.9%)、「食品事業者に対する指導」(18.5%)、「市内産農畜産物の安全性の確保」(14.9%)、「市民・関係団体との連携」(14.1%)となっている。

図32.1 特に不十分だと感じている取組



全体	食の安全に関する情報提供	食品検査の実施	食品事業者に対する指導	市内産農畜産物の安全性の確保	市民・関係団体との連携	その他	無回答
249	140	47	46	37	35	29	44

(人)

【性別・年齢別】

各年代とも、「食の安全に関する情報提供」の割合が高くなっている。

表 6.1 特に不十分だと感じている取組（年齢別・全体）

	対象者	食の安全に関する情報提供	食品検査の実施	食品事業者に対する指導	市内産農畜産物の安全性の確保	市民・関係団体との連携	その他	無回答
計	249	56.2	18.9	18.5	14.9	14.1	11.6	17.7
20～29歳	18	44.4	27.8	16.7	11.1	16.7	11.1	11.1
30～39歳	29	34.5	13.8	6.9	6.9	27.6	31.0	17.2
40～49歳	52	51.9	26.9	19.2	15.4	19.2	17.3	13.5
50～59歳	48	66.7	10.4	22.9	22.9	10.4	10.4	8.3
60～69歳	60	70.0	15.0	16.7	15.0	8.3	6.7	21.7
70歳以上	39	48.7	23.1	23.1	12.8	10.3	0.0	30.8
年齢不明	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3

対象者：人／回答：%

表 6.2 特に不十分だと感じている取組（年齢別・男性）

	対象者	食の安全に関する情報提供	食品検査の実施	食品事業者に対する指導	市内産農畜産物の安全性の確保	市民・関係団体との連携	その他	無回答
計	130	57.7	16.2	21.5	17.7	17.7	13.8	13.8
20～29歳	10	30.0	10.0	20.0	10.0	30.0	10.0	20.0
30～39歳	15	33.3	20.0	6.7	13.3	33.3	40.0	13.3
40～49歳	24	50.0	25.0	29.2	16.7	20.8	12.5	16.7
50～59歳	26	61.5	15.4	26.9	30.8	15.4	19.2	0.0
60～69歳	39	74.4	10.3	17.9	12.8	10.3	7.7	20.5
70歳以上	16	62.5	18.8	25.0	18.8	12.5	0.0	12.5
年齢不明	0	-	-	-	-	-	-	-

対象者：人／回答：%

表 6.3 特に不十分だと感じている取組（年齢別・女性）

	対象者	食の安全に関する情報提供	食品検査の実施	食品事業者に対する指導	市内産農畜産物の安全性の確保	市民・関係団体との連携	その他	無回答
計	113	54.9	22.1	15.0	12.4	10.6	9.7	20.4
20～29歳	8	62.5	50.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0
30～39歳	14	35.7	7.1	7.1	0.0	21.4	21.4	21.4
40～49歳	28	53.6	28.6	10.7	14.3	17.9	21.4	10.7
50～59歳	22	72.7	4.5	18.2	13.6	4.5	0.0	18.2
60～69歳	21	61.9	23.8	14.3	19.0	4.8	4.8	23.8
70歳以上	20	40.0	30.0	25.0	10.0	10.0	0.0	40.0
年齢不明	0	-	-	-	-	-	-	-

対象者：人／回答：%

(7) 食の安全に関して必要としている情報

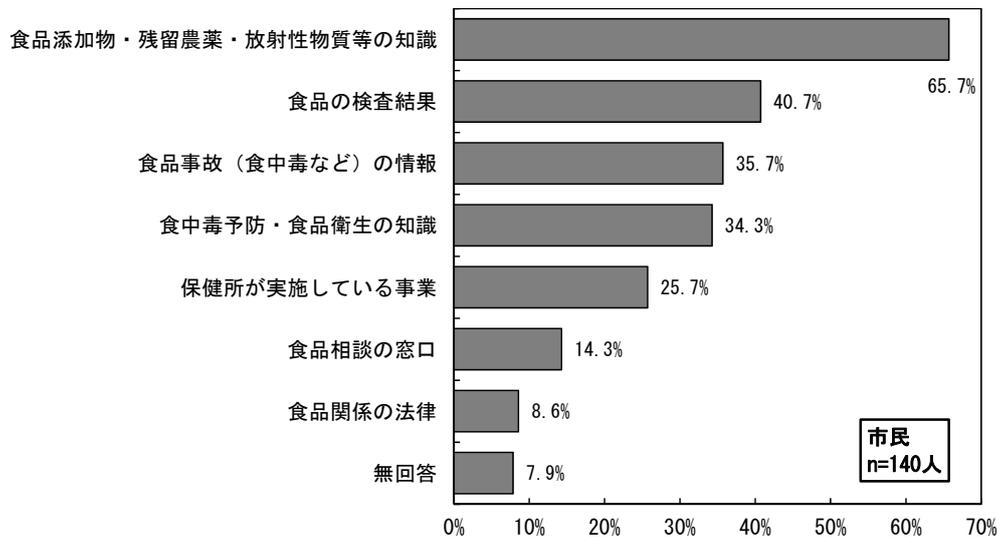
問30-2 どのような情報が必要ですか。(〇は3つまで)

7割弱が「食品添加物・残留農薬・放射性物質等の知識」と回答

【全体結果】

食の安全に関する情報提供が特に不十分だと感じている人が必要としている情報については、「食品添加物・残留農薬・放射性物質等の知識」(65.7%)と回答した人が最も多く、以下「食品の検査結果」(40.7%)、「食品事故(食中毒など)の情報」(35.7%)となっている。

図33.1 食の安全に関して必要としている情報



全体	食品添加物・残留農薬・放射性物質等の知識	食品の検査結果	食品事故(食中毒など)の情報	食中毒予防・食品衛生の知識	保健所が実施している事業	食品相談の窓口	食品関係の法律	無回答
140	92	57	50	48	36	20	12	11

(人)

【性別・年齢別】

20歳代では「食品の検査結果」「食中毒予防・食品衛生の知識」が同率で最も高く、30歳代以上では「食品添加物・残留農薬・放射性物質等の知識」と回答した人の割合が最も高くなっている。

表 8.1 食の安全に関して必要としている情報（年齢別・全体）

	対象者	食品添加物・ 残留農薬・ 放射性物質 等の知識	食品の検査 結果	食品事故 (食中毒な ど)の情報	食中毒予防・ 食品衛生の 知識	保健所が実 施している 事業	食品相談の 窓口	食品関係の 法律	無回答
計	140	65.7	40.7	35.7	34.3	25.7	14.3	8.6	7.9
20～29歳	8	37.5	50.0	25.0	50.0	25.0	12.5	0.0	12.5
30～39歳	10	50.0	30.0	40.0	30.0	30.0	10.0	10.0	30.0
40～49歳	27	70.4	33.3	44.4	22.2	25.9	18.5	18.5	3.7
50～59歳	32	84.4	59.4	34.4	34.4	28.1	15.6	3.1	0.0
60～69歳	42	57.1	35.7	33.3	35.7	28.6	14.3	9.5	7.1
70歳以上	19	63.2	26.3	36.8	42.1	15.8	10.5	5.3	15.8
年齢不明	2	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人／回答：%

表 8.2 食の安全に関して必要としている情報（年齢別・男性）

	対象者	食品添加物・ 残留農薬・ 放射性物質 等の知識	食品の検査 結果	食品事故 (食中毒な ど)の情報	食中毒予防・ 食品衛生の 知識	保健所が実 施している 事業	食品相談の 窓口	食品関係の 法律	無回答
計	75	61.3	36.0	38.7	41.3	24.0	10.7	12.0	9.3
20～29歳	3	0.0	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3
30～39歳	5	40.0	20.0	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0	40.0
40～49歳	12	75.0	33.3	50.0	25.0	16.7	16.7	25.0	8.3
50～59歳	16	68.8	50.0	43.8	56.3	25.0	6.3	6.3	0.0
60～69歳	29	55.2	34.5	34.5	37.9	31.0	13.8	10.3	6.9
70歳以上	10	80.0	30.0	30.0	40.0	10.0	10.0	10.0	10.0
年齢不明	0	-	-	-	-	-	-	-	-

表 8.3 食の安全に関して必要としている情報（年齢別・女性）

	対象者	食品添加物・ 残留農薬・ 放射性物質 等の知識	食品の検査 結果	食品事故 (食中毒な ど)の情報	食中毒予防・ 食品衛生の 知識	保健所が実 施している 事業	食品相談の 窓口	食品関係の 法律	無回答
計	62	69.4	45.2	32.3	24.2	29.0	19.4	4.8	6.5
20～29歳	5	60.0	60.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
30～39歳	5	60.0	40.0	40.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0
40～49歳	15	66.7	33.3	40.0	20.0	33.3	20.0	13.3	0.0
50～59歳	16	100.0	68.8	25.0	12.5	31.3	25.0	0.0	0.0
60～69歳	13	61.5	38.5	30.8	30.8	23.1	15.4	7.7	7.7
70歳以上	8	37.5	25.0	37.5	37.5	25.0	12.5	0.0	25.0
年齢不明	0	-	-	-	-	-	-	-	-

対象者：人／回答：%